

運用指針

第2条③

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減

館山自動車道(君津IC～富津中央IC)の早期供用

館山自動車道(君津IC~富津中央IC)の早期供用

当初計画

君津ICに収用案件があり、平成18年1月の用地引渡し後、埋蔵文化財発掘調査を行った後に本線工事の計画

【①君津IC文化財調査】

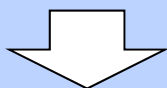
- ・周辺の状況や過去の実績から1パーティー(15人)で7か月間(208日間)で計画

【②君津IC切替工事】

- ・君津ICは収用地を回避するため暫定ランプで供用しており、ランプの切替工事に36日間(昼間)の通行止めが必要

【③舗装・施設工事】

- ・昼間施工で約16か月の全体工程で計画し、君津ICは、土工工事引渡し後、2か月で計画



供用予定日:平成19年9月30日

経営努力による変更

利用者が一番多い夏休み前の供用を目標として工程短縮の取組みを行った

【①君津IC文化財調査】

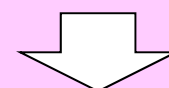
- ・調査を行う県に必要性を説明し理解を得るとともに、綿密に工程調整を行う
- ・4パーティー(60人)で52日間に短縮

【②君津IC切替工事】

- ・警察等との協議により昼夜連続通行止めによる施工が可能となり12日間に短縮

【③舗装・施設工事】

- ・GW期間中及び7か月間の作業時間の見直しや休日における作業の実施により短縮(48日間短縮)



供用日:平成19年7月4日
(88日の早期供用)

館山自動車道(君津IC~富津中央IC) 位置図

館山自動車道(君津IC~富津中央IC)の路線概要

- ・館山自動車道で、唯一未開通となっていた区間(最後の開通区間)
- ・全線開通することにより、館山自動車道と並行する一般国道127号の渋滞緩和及び東京方面から南房総地域へのアクセスの向上が期待される。



早期供用に向けた全体マネジメント

・クリティカルである君津IC部の用地引渡し後の工事工程について
H18.1頃、工程短縮を検討

・会社の事業関係者による工程検討を実施

- ・埋蔵文化財発掘調査期間の短縮(156日短縮)
- ・君津ICランプ切替に伴う通行止め期間の短縮(24日短縮)

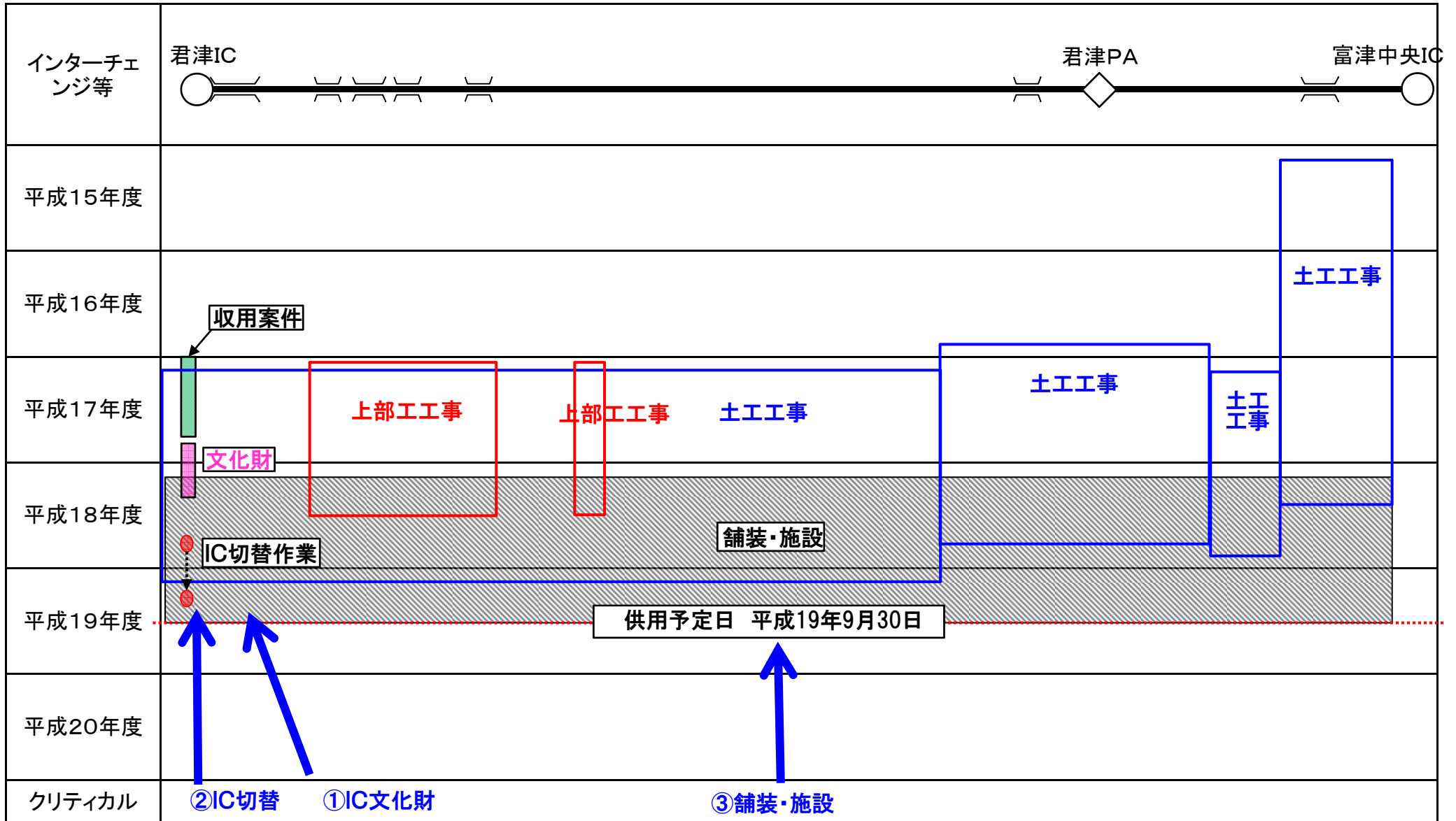
・施工方針を決定し、関係機関の協力、了解を得る

・ H19.1頃、舗装・施設の全体工程短縮の検討(48日短縮)

・ H19.7を完成目標に、工事等に取り組む

全体マネジメントを行い、早期供用が実現(88日)

当初工程(館山道 君津IC~富津中央IC)



①君津IC文化財調査による工程短縮

君津IC部収用地における埋蔵文化財発掘調査の期間短縮

埋蔵文化財発掘調査の期間短縮のために千葉県教育委員会と協議を実施

- ・協議において、観光客が多い夏休み前の開通効果について説明し、埋蔵文化財発掘調査の期間短縮の必要性について理解を得るとともに、速やかに埋蔵文化財の発掘調査に着手できるよう綿密に工程調整を行った。

〔県の当初計画〕

1パーティー(15人) ➡ 4パーティー(60人)で実施

短期間での埋蔵文化財発掘調査が可能に



通常1パーティーで調査した場合
7ヶ月(208日間)

4パーティーによる実績
52日間

156日間の工期短縮

②君津IC切替工事による工程短縮

通行止め規制時における昼夜連続施工による短縮

君津ICは、収用地を避けて暫定ランプで供用



暫定ランプで供用しているA及びDランプは、ランプ切替え工事のため通行止め規制が必要



警察との協議・調整



必要最小限の通行止め日数とするため

昼夜連続通行止め規制工事を実施

1回目 H18. 11. 26(日)21:00~H18. 12. 1(金)6:00 [6日間]

2回目 H19. 4. 8(日)21:00~H19. 4. 14(金)6:00 [6日間]

日中施工のみの場合
36日間



昼夜連続工事の場合
12日間

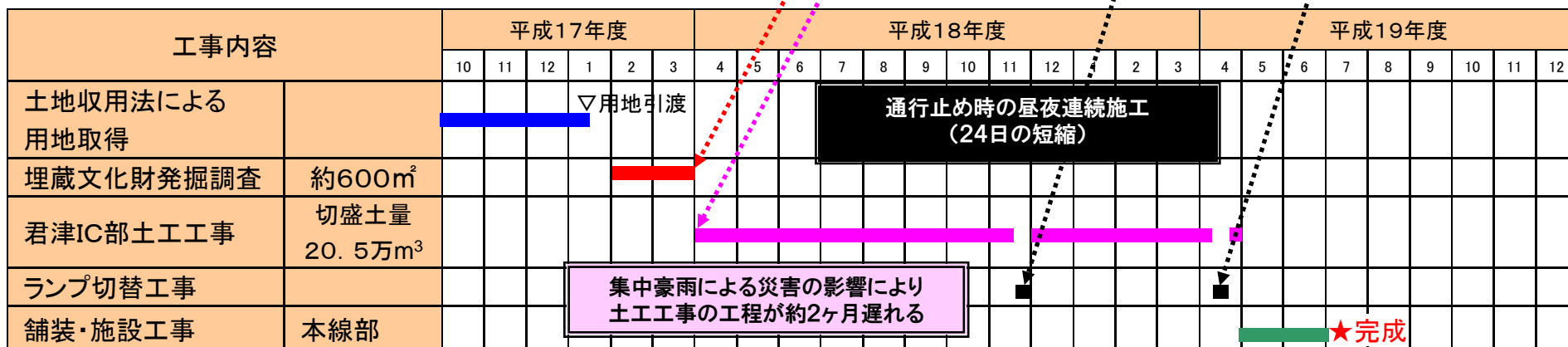
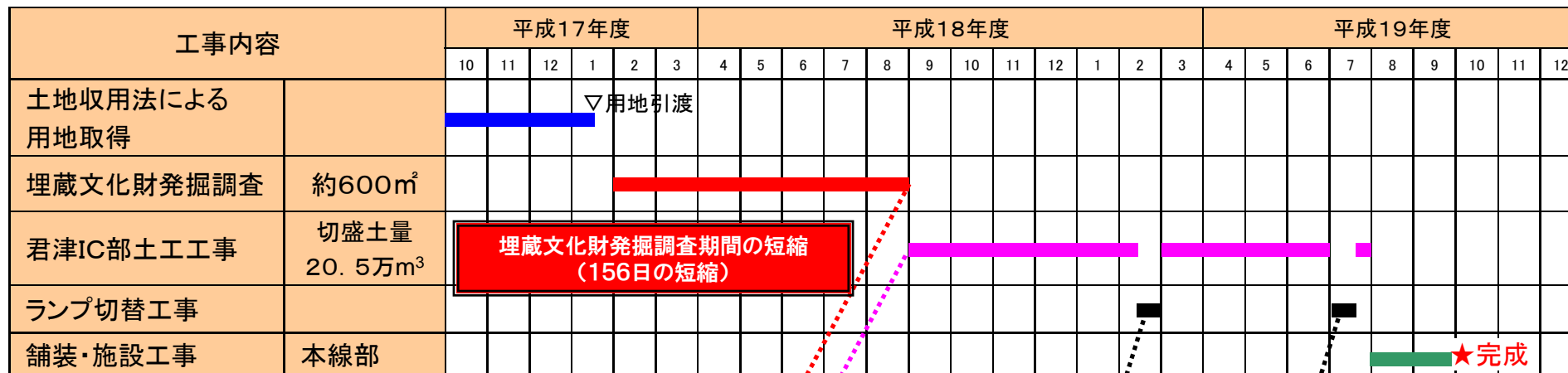


24日間の工期短縮



工程短縮

■ 君津IC～富津中央IC間のクリティカルとなる施工区間における工程表(君津IC部)



工期短縮への取組みの結果、88日の早期供用(平成19年7月4日供用)